

公益財団法人 8020 推進財団

平成 28 年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録

1. 事業名： 子どもの虐待防止啓発事業

2. 申請者名： 公益社団法人 東京都歯科医師会
会長 高橋 哲夫

3. 実施組織： 公益社団法人 東京都歯科医師会
母子保健医療常任委員会

4. 事業の概要：

地域医療を支える一次医療機関である本会会員歯科医療機関においては、虐待が疑われる子供や様々な問題を抱えた家族と比較的早い段階で出会う可能性が高く、地域一体となった支援に繋げる役割が期待されている。歯科医療機関は、虐待や要支援家庭を早期に発見し、関係機関と連携して対応することにより、子供が死に至るような虐待の重症化を防ぎ、地域での虐待防止を担っていると言っても過言ではない。

本会では、会員がこれまで以上に児童虐待防止に関わっていけるよう、虐待に関する知識の習得や実践的な防止事例に触れる機会を多く設けるため、研修会の開催並びに関係学会への協力を行うことにより、会員の意識向上を図るとともに、これらの事業を通じて広く情報収集をし、都民への啓発活動のための基礎資料とする。

5. 事業の内容：

本会では平成 28 年度より、虐待防止について豊富な実績のある「社会福祉法人 子どもの虐待防止センター」との共催で、実際に心配な子供や家族が来院した時の適切な対応やその後の支援についてまでの知識の習得を目的に、会員（その他医療従事者）を対象にした「子どもの虐待防止研修会」を開催することとした。

平成 28 年度は 8 月 3 日（水）19 時より、歯科医師会館 1 階大会議室において実施し、65 名の受講者を集めた。当日はアンケート調査を行い、次年度以降の開催に向けての参考とすることとした。（別添資料参照）

また、「日本子ども虐待防止歯科研究会」への協力も行き、11 月 20 日（日）12 時 30 分より、歯科医師会館 1 階大会議室にて研究会との共催で「第 1 回学術大会」を開催した。

6. 実施後の評価（今後の課題）：

平成 28 年 8 月 3 日（水）に開催した「子どもの虐待防止研修会」で行ったアンケート結果を見ると、児童虐待の連鎖とその深さについて改めて意識することとなった受講者が多いことが見受けられる。

マスメディアでたびたび取り上げられることの多い児童虐待であるが、その実情を知っている人はたとえ医療職であってもまだ少数であると推測される。

今回の「子どもの虐待防止研修会」や「日本子ども虐待防止歯科研究会 第 1 回学術大会」への参加者も 100 名に届いていないのが現状であるため、都民への啓発を行う上でも、虐待防止関連の事業への参加者をもっと増やし、歯科医師が児童虐待防止に関わっていく機運をさらに高めていく必要があると思われる。